

幼虫移入期のマイマイガの防除対策について（緊急対策）

平成 27 年 5 月
JA 中野市園芸技術課

大型連休過ぎからマイマイガの幼虫が大型化し、葉の食害が増えています。高温・乾燥で経過しているため、今後も断続的な発生が心配されます。被害が大きい園（樹）では特別散布を実施してください。詳しくは下記をお読みください。

1. 現在の生育ステージ・被害状況他

- 幼虫移入期
- 体長 2 cm以上
- 幼虫が大型化し、摂食量も増えているため、葉に大きな穴をあけます。特に若木や定植初年度の幼木では被害が大きい状況です。

2. 薬剤防除について（下記の薬剤は全て JA で取り扱っています）

効果薬剤：合成ピレスロイド剤、ネオニコチノイド剤（下表参照）

山林等で大型化した中齢幼虫が果樹園に盛んに移入し、短期間に多大な被害をもたらしている場合は、速効的かつ残効の長い合成ピレスロイド剤を使用してください。

薬剤名	希釈倍率	適用
モスピラン顆粒水溶剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000	果樹類・野菜
バリアード顆粒水和剤（ネオニコチノイド系）	2,000～4,000	果樹類・野菜
アディオンフロアブル（合成ピレスロイド系）	1,500	果樹類
アーデントフロアブル（合成ピレスロイド系）	2,000	果樹類
アーデント水和剤（合成ピレスロイド系）	1,000	果樹類・野菜
トレボン乳剤（合成ピレスロイド系）	1,000～2,000	野菜・樹木類

◆ 注意事項

- ① 不明な点は、担当技術員までお問い合わせください。
- ② 上記以外の薬剤を使用する場合は、担当技術員までお問い合わせください。
- ③ 定期散布や特別散布を実施する場合は、年間の使用回数制限に注意してください。
- ④ 各農薬使用の際は、ラベル等をよく確認し、使用規制・回数等を遵守してください。